別記様式第9号(第10条関係)															
	鳥取県育英奨学資金借用証書														
借用	金	Р	也												
鳥取県育英奨学生として貸与を受けた上記奨学資金は、規定に従い私ども連帯で裏面奨学資金返還明細書のとおり滞りなく返還することを誓約します。 万一奨学資金の返還を怠った場合には、奨学資金返還明細書に記載した返還期限の到来前において指定された日までに返還未済額の全部を一括返還することを請求され強制執行の手続きをとられても異議ありません。 年月日															
 	受	フ 氏	IJ	ガ	ナ 名							Ī	忍印		
	学	生	年	月	日		年	月		日生					
7	生本人	住			所	Ŧ									
		電			話	()	_							
l i	去	フェ	IJ	ガ	ナ				続	本人の ()	Ī	認印		

氏

住

電

フ

氏

住

電

リガナ

生 年 月 日

定

代

理 人

連帯

保

証

人

名

所

話

名

所

話

₹

₹

(

(

)

)

年

私は、上記の本人及び連帯保証人が奨学資金返還義務の履行を怠ったときは、その義務を継続履行します。 ※ただし、保証人が支払義務を負う債務の上限額は返還未済額の2分の1の金額です。

柄

柄

月

本人の (

日生

実印

											Ü
	フ 氏	IJ	ガ	ナ 名				続柄	本人の()	実印
保	生	年	月	日		年	月		日生(歳)	
証人	住			所	〒						
	電			話	()	_				

※租税特別措置法第91条の3第2項の規定の適用により、印紙税は課されません。(国外の大学に在学した奨学生の場合は、%の記載を削除する。)

鳥取県育英奨学資金返還明細書																							
奨 番	学 生 号			第	号				返	返還総額			3	+		万	₹	F	Ĕ	ī	+	円	
フ 氏	IJ	ガ ナ 名									返還期間										年 間		
		借	,	用 期		間			借用月			借	用	F	割 額	額				借用金			
借用金額內訳	年			月~		年 月					ヶ月 万		千百十		円	百十二			万 千 百 -			十一円	
	年			月~		年 月					ヶ月												1
				借	用	j <u>3</u>		差 額			<u>{</u>	j	計					i - - - -		-	 		
学	校 名										学校 年		終了月日			年		F	<u> </u>		月		日
理		且	3	2	卒業		•	退	学	•		死亡	•	•	辞ì	艮	•		そ(の他	取り) やめ)
返還		半(最		年 可返還物	賦 額)	百	+	万	千	百	+	円	期日		1回 降7月	月末	日と	年 12		末日	月(口		日(番)
額 · 方		月(最	終回	可返還物	賦				 				期日		1回 降毎月	月末	(口	年座振		1	月		日
法		繰	上	返	還				1		 		期日		口屋	坚振	替	年 •		入通	月 知書		日
引	落	金	融	機	関			うよ鎖 4申請		· □1	-	うちょ ・ □	: 銀行]無))		外								
本人品				連絡付先		電記	活	()												
本人関係事項				就 職 学		就罪		• 進气	学先の	D 名 和	»:)		_	_									

(記入上の注意)

- 1 借用証書(表面)と返還明細書(裏面)の金額を一致させること。
- 2 借用証書(表面)の金額の訂正はすることができない。返還明細書(裏面)の金額の訂正は、必ず本 人の訂正印を押すこと。
- 3 法定代理人は、本人が未成年である場合、その親権者(共同親権者の場合は、その代表者)を記入すること。
- 4 借用証書に押印した連帯保証人及び保証人の印鑑については、市町村長が作成した印鑑登録証明書を添付すること。
- 5 返還額・方法の欄は、半年賦、月賦又は繰上返還のいずれか希望のものについて記入すること。
- 6 借入金額の全額を一括繰上返還する場合は、半年賦及び月賦の欄に記入しないこと。
- 7 ゆうちょ銀行以外の銀行に対して口座振替の依頼を行った場合は、引落金融機関の欄の電子申請の有 無の該当するものに図を付けること。
- 8 この借用証書及び返還明細書は、記入後に写しを取り、その内容に変更が生じたときは速やかに鳥取 県教育委員会へ届け出ること。